

(様式第1号)

令和元年度第1回 芦屋市立図書館協議会 会議録

日 時	令和元年7月18日(木) 10時～11時30分
場 所	図書館本館2階集会室
出席者	委員長 笹倉 剛 委員長代理 山田 耕治 委員 臼田 由香 委員 枝元 益祐 委員 熊本 潤子 委員 多田 直弘 委員 藤本 史子 委員 松川 圭子 事務局 田中社会教育部長, 丸尾館長, 山内管理係長 後藤利用サービス係長, 管理係石田
欠席者	なし
会議の公開	■ 公開
傍聴者数	0人

1 会議次第

- ① 図書館協議会委員委嘱・任命式
- ② 図書館施設見学等
- ③ その他

2 提出資料

令和元年度第1回芦屋市立図書館協議会 資料

3 審議経過

(協議会開会)

(図書館協議会委員委嘱・任命式)

(田中社会教育部長あいさつ)

(委員自己紹介)

(丸尾館長) それでは、図書館協議会の委員長と委員長代理を決めたいと思います。委員長についてはいかがでしょうか。

(松川委員) 笹倉委員にお願いできないでしょうか。

(丸尾館長) 笹倉委員を委員長とすることに意義はございませんか。

(「異議なし」の声起こる。)

(丸尾館長) 笹倉委員長，ご挨拶をお願いします。

(笹倉委員長あいさつ)

(丸尾館長) 委員長が決まりましたので、これより委員会の進行は笹倉委員長をお願いします。

(笹倉委員長) まず、委員長代理を決めたいと思います。私が指名することに意義はございませんか。

(「異議なし」の声起こる。)

(笹倉委員長) それでは委員長代理は山田委員にお願いします。山田委員長代理，ご挨拶をお願いします。

(山田委員長代理あいさつ)

(笹倉委員長) 本日協議会の傍聴をされる方はおられますか。

(丸尾館長) 今のところ傍聴者はおりませんが、会の途中から傍聴される場合は諮らせていただきます。

(笹倉委員長) それでは、図書館施設見学等について事務局から説明をお願いします。

(丸尾館長) 図書館本館は、昨年10月から大規模改修工事を行い、今年4月16日にリニューアルオープンをいたしました。皆様にお配りしている「広報あしや」6月号にも特集記事が掲載されています。この度の改修工事で、屋上の防水工事、電気空調設備の工事、エレベーター等の改修工事、照明のLED化、館内案内標示の改良改修、閲覧カウンターの新設、授乳室の新設、オストメイト型トイレの設置などを行いました。さらに本館の開館時間について、平日は午前9時30分から午後7時まで、土日祝は午前9時30分から午後6時まで拡大を行いました。

今回の協議会では、ただいまから委員の皆様リニューアルした図書館をご案内したいと思います。

[図書館施設見学]

(笹倉委員長) それでは質疑と意見交換を行います。何か意見はございますか。

(枝元委員) 書架の分類について、具体的なタイトルでいいますと「現代のエスプリ」という既に廃刊になっている雑誌が一般書架の中に排架されていました。おそらく、主題があるということで、書架に並べられているのだと思います。雑誌ということであれば、雑誌コーナーに順番に並べる方法もありますが、利用者が見つけやすい工夫をされているのだと感じました。

ブラウジングコーナーのソファが非常にゆったりしており、皆さんがくつろがれているのがわかりました。

雑誌の選書は、どのような基準でされていますか。もちろんリクエスト等がメインだと思うのですが。例えば、バイク雑誌として「モーターサイクリスト」が置いてありましたが、他の雑誌が見あたりませんでした。数あるバイク雑誌の中で「モーターサイクリスト」になった理由は何でしょうか。やはりリクエストかなとも思いますが、もっといい雑誌もあるのにも感じました。

いずれにせよ、皆さんがくつろいで、本をたくさん手に取って読まれていたのが印象に残りました。

(笹倉委員長) それでは雑誌について、お答えいただけますか。

(丸尾館長) 雑誌も含め、本の選定は選書会の中で複数名で行っています。

「モーターサイクリスト」が例にでましたが、一度選書した雑誌は、廃刊や休刊にならないと変更が難しい部分があります。図書館は幅広く資料を収集

する必要があるので、利用が少なそうでもバランスを考えて選書しています。その中で、利用が見込めそうか、発行部数はどのくらいか、創刊から間もない雑誌は休刊の恐れはないかなどを踏まえ、検討しています。

(多田委員) 全面禁煙になったのが良いと思います。

兵庫県南部の図書館はすべて利用していますが、リフレッシュルームがあるのはここだけです。リフレッシュルームは、とてもいいのではないのでしょうか。あと、いろんな図書館を利用していると、CDやDVDを貸し出している図書館もありました。

図書館がリニューアルできれいになると、不思議と利用者のマナーが良くなったような気がします。特に携帯電話の着信音を鳴らす人がいなくなりました。ただ、新聞をめくる音などが気になるので、公共施設であることを意識してほしいと思います。

(藤本委員) たくさんの人が利用されているのが分かりました。館内も明るくなりましたし、以前は床に座って本を読んでいる人がいましたが、座りやすい椅子がたくさん増えたので、そのような人を見かけなくなりました。また、こちらの図書館でも、他市の図書館から本を貸借されているのがすごいと思いました。本が届くまで時間はかかるかもしれませんが、図書館に無い本が減っていくのでよいと思いました。

1歳児、2歳児など幼児向けの本は貸出していただけののですか。

(丸尾館長) 赤ちゃんから高齢の方まで貸出券は発行できます。幼児向けの本も貸出可能ですので、ご利用いただけると嬉しいです。

(臼田委員) 閲覧カウンターの小さいライトは、リニューアル後、最初に目につきました。雰囲気もあり、使い勝手のいいものでとてもよいと思いました。また、書庫を見せていただいて、普段書庫の本をお願いするときの時間のかかる理由がわかりました。おはなしの部屋へは自分が入るのは初めてで、こんな部屋なのだと初めて知りました。

(松川委員) 土曜日のおはなしの会の参加人数について、リニューアルや広報あしやに掲載された影響なのか、増加している印象ですが、どうでしょうか。開館時間が延長しましたが、例えば、静かに本を読みたい人は、人が少なくなる夕方に来館するなど、利用者のニーズに応じてくれているという印象を受けています。利用者数はどうなっているのでしょうか。

(丸尾館長) 昨年度の同時期と比較して増加傾向にあります。リニューアル直後の4月は、特に利用が多かったです。これは開館時間の延長、施設がきれいになったこと、リニューアルの周知が進んだことによるものだと思います。今後も7月、8月は夏休みに入るので、利用は増加していくのではないかと考えています。

(山田委員長代理) 全体的に明るくなっています。また、木目を使っているので丸いというか、柔らかい感じが出ていると思います。

児童書架の本が取り出しやすく、見やすいレイアウトになっていると感じました。また、学校の図書室はクラスで使うため、大きい机を設置していますが、図書館では小さい机とたくさんの椅子があり、違いを感じました。

(熊本委員) 明るくきれいになって嬉しく思います。書庫などの裏側を見させていただきましたが、以前のままだと感じました。職員が業務で利用される箇所なので、照明を変えてくださればいいのにと感じました。

(丸尾館長) 書庫の照明はLED化しております。バックヤードについては、改修していない箇所があります。

(熊本委員) ここの図書館は滞在型といいますか、落ち着いている感じがして、ここで時間を過ごしたいなと思える雰囲気があります。ユニークなものやカラフルなものというのではなく、かわいい案内を手作りで作ってくださっていたり、緑が多くて、気持ちがいいなと思いました。

対面朗読室については、「対面朗読室」という名称なのに全くそうではないなという印象です。対面朗読の時は別のお部屋を準備してもらっていますが、「対面朗読室」と看板を出しているのだから、部屋が使える状態であればいいのにと感じます。

(丸尾館長) 対面朗読室の運用方法は検討いたします。

(熊本委員) 入口は英語と日本語の2ヶ国語表記でしたが、館内は4ヶ国語表記でしたので、このあたりも考慮されているのだなと嬉しく感じました。外はやはり2ヶ国語のみなのでですね。

(丸尾館長) 入口の表記については、なるべく分かりやすいものにしようと考え

えました。4ヶ国語表記では字が小さくなりすぎるため、2ヶ国語表記としました。

今回の工事では多くの案内標示を改良しましたので、幅広い方々に利用していただける図書館になればいいと思います。

(笹倉委員長) 非常に快適な空間だと思います。人と資料と施設が図書館の3要素ですが、施設が良くなり、利用者の表情を見ても、ゆったりとした表情でくつろがれていましたので、非常に素晴らしいと思いました。カウンターの接遇も非常に良い表情でされていました。欲をいえば、カウンターがフラットなのもいいのですが、1ヶ所は小さい子向けに低いカウンターにしてもよかったのかなと感じました。

“将来の図書館ファンを作る”ために、小さな子どもや小・中学生、もちろん高齢の方も非常に大切だと思いますので、これからの課題として考えていただけたらと思います。

椅子が多くて、気軽に座って本を読めるのはよいと思いました。

書庫を見せてもらったのですが、開架へは新しい本が入りますが、そのたびに古くなった本が書庫に入っていきます。職員が書庫から本を出すのは大変ではないですか。

文庫本を備品として扱っているようですが管理等で困られてはいないですか。また、BDS(※Book Detection System…図書館のセキュリティシステム)も導入されていないようですから、不明本等、管理上問題はないでしょうか。

それから、デジ書庫の扱いはどうなっているでしょうか。

(丸尾館長) 書庫の管理については、需要の多い小説を1階に配置し、利用者には番号札を渡すなどの工夫をしています。今のところは大きな混乱なく運用できていると認識しています。しかし、書庫の本が増えると古い本を除籍する必要があるため、その除籍作業の方が大変です。

デジ書庫については、貸出依頼があれば、他館で作成しているものがないかを確認し、それを貸出することが中心になっています。他館で作成していない場合は、ボランティアグループに協力してもらい、作成することになります。

(枝元委員) BDSを導入されていないようですが、入館者数はどのように把握されていますか。

(丸尾館長) 現時点では、正確な入館者数は把握できておらず、利用人数として、本の貸出者数から把握している状況です。前回の協議会の中でも、利用者は様々な目的で図書館へ来館されているので、貸出者数だけではなく、来館者数を把握することは、今後のサービスを考えるうえでも必要ではないかとのご意見をいただいております。現在、来館者数を把握する方法について検討しているところです。

(枝元委員) B D Sに関する考えは賛否あります。不正アクセスのように疑われているという意見がある一方、プロテクトしないと資料の紛失が起きる。図書館内で紛失したものなのか、無断で持ち出されたものなのか区別がつかなくなるので、B D Sが必要という意見もあります。しかし、こちらの図書館は、せっかくリニューアルされて、開放的で明るくなっているのですから、B D Sを設置しないという判断はよいと思います。来館者数については、利用実績や図書館稼働率として把握しておくのは、有意義なことだと思います。

(笹倉委員長) ほかにご意見はないでしょうか。ないようでしたら、これをもって、令和元年度第1回芦屋市立図書館協議会を閉会したいと思います。皆様お疲れ様でした。

以 上